

大分県における感染状況の評価

7月12日発表

※ ステージは、重症者用病床使用率、病床使用率、感染経路不明者割合などの各指標の状況を踏まえ、総合的に判断

ステージ	感染者の状況と医療提供体制への負担	重症者用病床使用率 (43床)	病床使用率 (508床)	感染経路不明者割合 (1週間)	人口10万対新規感染者数/週	入院率 (入院患者数/療養者数)	人口10万対療養者数 (宿泊療養含む)	直近1週間と先週1週間の比較	PCR陽性率 (1週間)
		0.0% (0床)	30.1% (153床)	29.9% (1352 / 4,516)	401.78 (4,516人)	4.1% (153 / 3,691)	328.38 (3,691人)	2018 → 4516人	31.39% (4516 / 14,385)
I レベル0~1 相当	感染者が散発的に発生 ・感染者が未発生、もしくは発生しているが一定の範囲にとどまっている ・医療提供体制に特段の支障がない状況	10%未満 (~4床)	10%未満 (~50床)	(感染者数が10人以上の場合適用) 30%未満	5未満 (~56人)	-	10未満 (~113人)	直近1週間と先週1週間に大差ない	3%未満
II レベル1 相当	感染者が漸増し、医療への負荷が蓄積 ・3密環境などリスクの高い場所でクラスターが発生し、感染者が漸増し、重症者も徐々に増加 ・保健所などの公衆衛生体制の負荷が増大するとともに、医療提供体制への負荷が蓄積しつつある状況	10~ 20%未満 (5~8床)	10~ 20%未満 (51~101床)	(感染者数が10人以上の場合適用) 30~ 50%未満	5~15未満 (57~170人)	(人口10万対療養者数10以上の場合適用) 50~ 40%超過	10~20未満 (114~226人)	直近1週間が先週1週間より多い	3~5%未満
III レベル2 相当	感染者が急速に増加し、医療提供体制における支障の発生を避ける対応が必要 ・ステージIIと比べてクラスターが広範に多発する等、感染者が急増 ・医療提供体制への負荷がさらに高まり、一般医療にも大きな支障が生じることを避ける対応が必要な状況	20~ 50%未満 (9~21床)	20~ 50%未満 (102~253床)	(感染者数が10人以上の場合適用) 50%以上	15~25未満 (171~283人)	(人口10万対療養者数10以上の場合適用) 40~ 25%超過	20~30未満 (227~340人)	直近1週間が先週1週間より多い	5~ 10%未満
IV レベル3 相当	爆発的に感染が拡大し、深刻な医療提供体制の機能不全を避ける対応が必要 ・病院間クラスター連鎖などの大規模かつ深刻なクラスター連鎖が発生し、爆発的な感染拡大により、高齢者や高リスク者が大量に感染し、多くの重症者及び死亡者が発生 ・公衆衛生体制及び医療提供体制が機能不全に陥ることを避ける対応が必要な状況	50%以上 (22床以上)	50%以上 (254床以上)	(感染者数が10人以上の場合適用) 50%以上	25以上 (284人以上)	(人口10万対療養者数10以上の場合適用)25% 以下	30以上 (341人以上)	直近1週間が先週1週間より多い	10%以上